



マルチフードプロセッサー

品番：K-FP1

家庭用

もくじ

安全上のご注意.....	2
使用上のご注意.....	4
各部の名称.....	6
使用前の準備.....	8
操作方法.....	10
・チョッパーのつかいかた... 10	
・ブレンダーのつかいかた... 13	
・ミルのつかいかた..... 16	
お手入れのしかた.....	18
故障かな?と思ったら.....	20
製品仕様.....	22
保証書.....	24



ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
でございます。

本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しく
お使いください。

本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

安全上のご注意 必ずお読みください

●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

⚠警告 この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意 この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。

⊘ ⊘ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ ❗ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠警告

⊘ 本体（モーター部）を水につけたり、水をかけたりしてぬらさないでください。
ショート・感電・火災の原因となります。

⊘ ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

⊘ 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、はさみ込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

⊘ 電源コードや電源プラグが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・火災の原因となります。

⊘ 分解・修理・改造はしないでください。
火災・感電・けがの原因となります。

⊘ 本体にピンや針金などの金属物など、異物を入れないでください。
異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

⊘ 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用・保管しないでください。
感電・けが・やけどの原因となります。

⊘ 温度の高いところや火気のあるところ、直射日光が当たるところでは使用・保管しないでください。
故障・変形の原因となります。

⊘ カッターに直接触れないでください。
けがの原因となります。

❗ 交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

❗ 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。
感電・ショート・発火の原因となります。

❗ 電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取ってください。
ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。

❗ 異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用をしないでください。
火災・感電の原因となります。

⚠注意

⊘ 本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。
火災・故障の原因となります。

⊘ 破損や変形があるときは絶対に使用しないでください。
感電・けがの原因となります。

⊘ 不安定・滑りやすい場所や水気・振動に弱いところで使用しないでください。
故障・けがの原因となります。

⊘ 使用後、電源コードを本体に巻き付けないでください。
コードが破損し、火災・感電の原因となります。

⊘ 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
熱を持ち、故障・火災の原因となります。

⊘ お手入れをするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは絶対に使用しないでください。
傷がついたり、変色・変形・故障の原因となります。

⊘ 各容器の上限ライン(ガラスボウル500ml、ブレンダーカップ800ml、ミルクキャップ85ml)以上材料を入れないでください。
故障・破損・けがの原因となります。

⊘ 各容器に40℃以上の熱い材料を入れないでください。必ず食材を常温に冷ましてからご使用してください。
故障・破損・けがの原因となります。

⊘ 各容器・各部品は冷凍庫や電子レンジやオーブンなどに入れないでください。
破損・けがの原因となります。

⊘ 本体とチョッパーホルダー以外の水洗いできる部分は、熱湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しないでください。
変色・変形・劣化や破損などの原因となります。耐熱温度は各容器・各部品によって異なりますが40℃以上のお湯でお手入れすることはやめてください。

⊘ 落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。
故障・破損・けが・感電の原因となります。

⊘ 使用中は本体を移動させないでください。
故障・けがの原因となります。

⊘ 本体の通風口をふさいだまま使用しないでください。
熱を持ち、故障や破損の原因となります。

⊘ 調理以外に使用しないでください。
故障・けがの原因となります。

⊘ 付属している専用部品以外は使用しないでください。
故障・けがの原因となります。

⊘ 空運転は絶対にしないでください。
故障・破損の原因となります。

⊘ カッターの回転が完全に止まるまで各容器のふたを開けたり、容器の中に指やスプーンなど材料以外のものを入れないでください。
けがの原因となります。

⊘ 使用できない材料を使わないでください。
「調理できない材料」(4ページ)の材料は使用できません。

⊘ 各容器にカッターを取り付けたままで調理物を入れて保存しないでください。
部品の劣化・故障の原因となります。

⊘ 割れたり、ヒビの入った容器は絶対に使用しないでください。
故障・破損・けがの原因となります。

⚠ 使わないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災・故障の原因となります。

⚠ 電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
故障・感電やショートの原因となります。

⚠️ 注意

- !** 使用後は十分にお手入れして乾燥させてください。
使用後そのままにしておくと、カビやサビなどの原因となります。
- !** 材料投入時やお手入れのときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・けがの原因となります。
- !** 調理した材料や、カッターに詰まった材料を取り出すときは、へらやスプーンなどで取り出してください。
けがの原因となります。
- !** 一回の使用時間は定格時間(チョッパー・ミル30秒、ブレンダー2分)以内にしてください。定格時間以上ご使用になる場合は15分以上休ませた後、再度ご使用ください。
故障・発火の原因となります。

- !** 材料の入れすぎ、少なすぎにご注意ください。
破損・けがの原因となります。
- !** キレが悪くなったり、カッターに傷、損傷を見つけた際は使用するのを止め、新しいものと交換してください。
本体以外の各容器・各部品は消耗品です。
- !** 調理したものはできるだけ早く召し上がるか、次の加工に進んでください。そのまま保存はしないでください。
材料の腐敗の原因となります。
- !** 運転を止めるときは、カッターが完全に停止してから、各容器を本体からはずしてください。
回転中に各容器をはずすと、ホルダーの回転部と本体の回転部の接合部分が削れ、部品の破損や故障の原因となります。

使用上のご注意

調理できない材料

以下の「調理できない材料」(×)を入れると、各容器・各部品などが破損し、本体故障の原因となります。

材料	チョッパー	ブレンダー	ミル
ロックアイス(市販の氷)	×	×	×
家庭用の冷凍庫で作った角氷	×	○ ^{*1}	×
冷凍された果物・野菜	○ ^{*2}	○ ^{*2}	×
粘り気の強い食材(山芋、やまと芋、ごぼう、つくね芋、いちょう芋、長いも、とろろ芋、マッシュポテト、納豆、はちみつなど)	○ ^{*3}	○ ^{*3}	×
肉・魚類	○ ^{*4}	×	×
泡立てやパンなどの生地作り	×	×	×
固いもの(生のじゃがいも、さつまいも、かぼちゃ、など)	×	×	×
乾物(パルメザンチーズ、朝鮮人参、ウコン、コーヒー豆、ごま、煮干、アーモンド、乾燥昆布、香辛料など)	×	×	○

○: 調理できます ×: 調理できません

※1 2.5cm角以上の氷は使用しないでください。

※2 冷凍された食材は、半解凍してからご使用ください。

※3 必ず液体と一緒にかくはんしてください。

※4 鶏皮、すじ肉、骨付き肉などは使用しないでください。

使用上のご注意

知っておいていただきたいこと

本製品の各回転部はゴム製です。ご使用中に摩耗し、カップリングのまわりに黒い粉が付着することがありますが異常ではありません。また、正しくセットされていない状態でのご使用や過負荷状態での長期間のご使用により、カップリングの摩耗が進行し、カップリング同士が滑り、ゴムが削れて飛散することがあります（発火による煙ではありません）。

使用するときは、本体または容器全体を真上から押してください。

本体または容器の端から押ししたり、斜めから押ししたりすると各回転部の接合する部分がかみ合わず、故障・破損の原因となります。

ご使用中にホルダーの裏側に黒い汚れが付着することがありますが本製品の異常ではありません。

黒い汚れは運転中に押し出された水分と回転部軸の潤滑油です。

汚れが目立つ場合は、乾いた布などで拭き取ってください。

サーモスタット（温度調整器の働き）

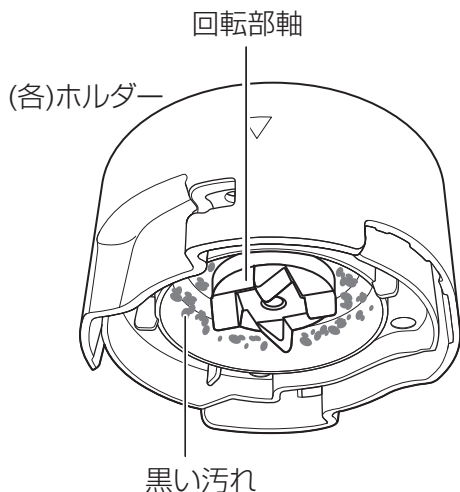
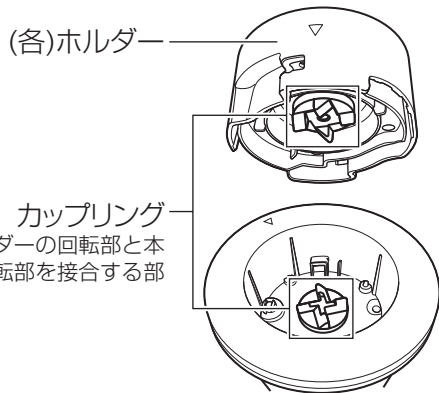
本製品には、モーターの過熱を防ぐため、自動的に電源が切れるサーモスタットが搭載されています。

一定時間以上連続して調理すると、この機能が働いて電源が切れます。

△注意

モーターに負荷がかかり過ぎると保護装置が働き一時停止します。停止した後は、以下の手順を厳守して取り扱ってください。

- ① 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ② 容器を本体からはずしてください。
- ③ 本体を30分以上自然冷却してください。



使用前の準備

初めて使うとき、または長い間 使用していないときは

本体とチョッパーホルダー以外を十分に洗って乾かしておいてください。

- 各容器・各部品は高温に耐えられないため、40°C以上のお湯で洗ったり、食器洗浄機、食器乾燥機などは使用しないでください。

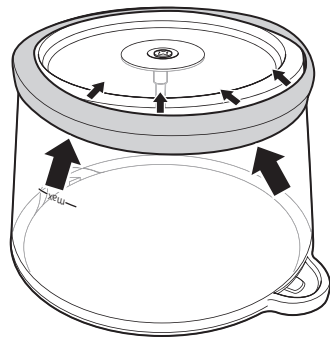
- △注意
- ・ カッターなど直接触れないでください。
けがの原因になります。
 - ・ 本体、チョッパーホルダーは水につけることができないため、浸水しないよう十分気を付けてお手入れしてください。
故障の原因になります。

チョッパーの準備

1. チョッパーすべり止めをガラスボウルに装着してください。

- ガラスボウルを安定した水平な場所に逆さに置き、チョッパーすべり止めをガラスボウルに深めにかぶせ、ガラスボウルのフチに合わせ、引き上げてください。装着完了後、ガラスボウルを上向きに戻してください。
- チョッパーすべり止めは、お買い上げのときは装着されています。

- △注意
- ・ チョッパーすべり止めは必ず取り付けてご使用ください。
 - ・ 使用する場合は、ぬれていない場所、揺れなどに十分耐えられる場所でご使用ください。

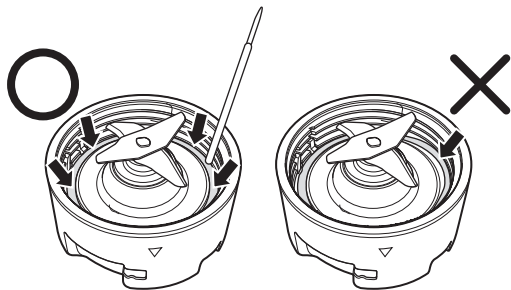


使用前の準備

ブレンダーの準備

ブレンダーホルダーのパッキンは、付属のスティックを使用し、隙間や浮いているところなどが無いようしっかりとパッキンの溝に取り付けられているか確認してください。

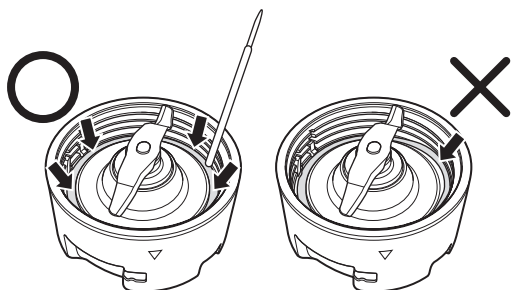
△注意 カッターなど直接触れないでください。
けがの原因になります。



ミルの準備

ミルホルダーのパッキンは、付属のスティックを使用し、隙間や浮いているところなどが無いようしっかりとパッキンの溝に取り付けられているか確認してください。

△注意 カッターなど直接触れないでください。
けがの原因になります。



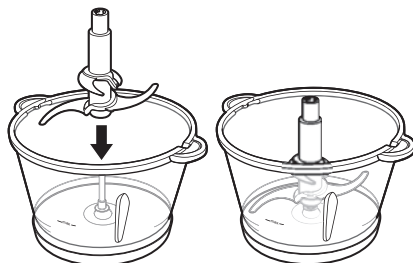
操作方法

連続プッシュ	材料がお望みの状態になるまで押し続けます。 材料を細かくしたり、なめらかにしたい時の操作方法です。
断続プッシュ	1回1秒程度を目安に、押す・離すを繰り返します。 硬い材料の粉碎や粗挽きをしたい時の操作方法です。

チョッパーのつかいかた

1. チョッパー用のカッターをガラスボウルに取り付けてください。

- ・カッターをガラスボウル中央部にあるカッター軸に差し込んでください。

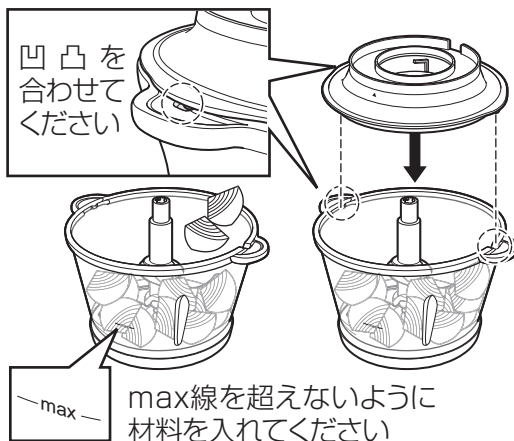


△注意

- ・カッターに直接触れないでください。
けがの原因となります。
- ・カッターを容器に取り付けてから、材料を入れてください。
- ・カッターつまみの先端の穴に異物が詰まっていないか確認してください。
故障の原因となります。

2. ガラスボウルに材料を入れて、チョッパーふたをしてください。

- ・ガラスボウルの左右の取っ手部分とチョッパーふたの取っ手部分の凹凸を合わせるようにしてしっかりと閉めてください。
- ・一回に入れる材料と時間の目安は付属レシピブックをご参照ください。



△注意

チョッパーふたはガラスボウルに正しく取り付けてください。凹凸を合わせ奥まではめ込むようにしてください。ガラスボウルとチョッパーふたに隙間がある状態のまま使用すると、カッターが回らず、モーターが空回りし、故障・けがの原因となります。

つかいかた(チョッパー)

- ・ ガラスボウルに刻まれているmax線を超えないように材料を入れてください。

量が多いときは、何回かに分けてご使用ください。

- ・ 調理できない材料は4ページでご確認ください。

破損・故障の原因となります。

- ・ 40℃以上の熱い材料を入れないでください。

必ず食材を常温に冷ましてからご使用ください。

故障・破損・けが・やけどの原因となります。

- △注意** 材料の状態や種類によって多少調理時間に違いがあります。

付属レシピブックに記載の分量や時間の目安を参考にして、お使いの食材や調理器具によって調整してください。

- ・ 材料の入れすぎ、少なすぎにご注意ください。

破損・けがの原因となります。

- ・ ジュースを作ったり、乾物を粉砕したりしないでください。

誤使用の場合、故障・破損の原因となります。

- ・ 脂身の多い肉はカッターの切れ味が低下するので、ご注意ください。

3. チョッパーホルダーをチョッパーふたにはめ込んでください。

①チョッパーホルダーの白い▽マークとチョッパーふた上部の黒い●マークを合わせてはめ込みます。

②黒い▲マークまでカチッと音がするまで回して固定してください。

4. 右図のように本体の外周部の白い▽マークとチョッパーふたの黒い▲マークを合わせてのせてください。

5. 本体の電源コードをコンセントに差し込んでください。

- ・ 電源コードを束ねたまま使用しないでください。

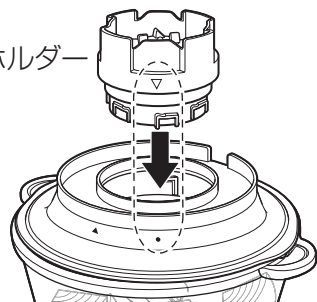
コードが傷つき、感電・発火の原因となります。

△注意

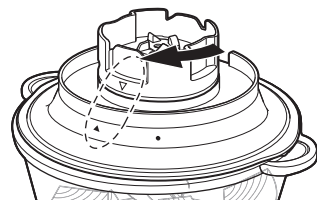
- ・ 本体を押した状態でコンセントに差し込むと通電し、作動しますので、ご注意ください。

チョッパーホルダー

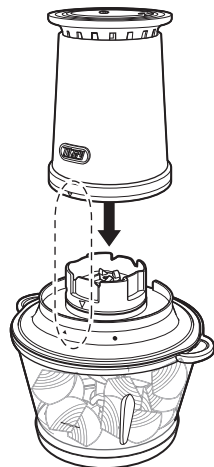
- ①
▽と●を合わせてはめこむ



- ②
回転させて▽と▲を合わせる



本体の▽とチョッパーふたの▲を合わせる



次ページにつづく▶▶

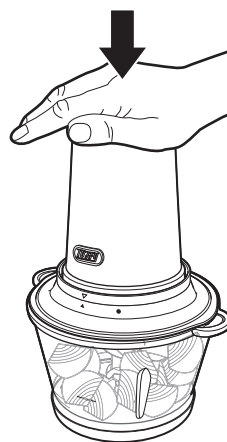
つかいかた (チョッパー)

6. 本体の真上から押して調理してください。

本体を押しているときのみ作動します。

手を離すと停止します。

- ・ ガラスボウルの壁面に材料がついたときは、一旦ふたをはずしてスプーンなどで中に落として操作してください。



△注意

- ・ 一回の使用時間(連続操作、断続操作の合計時間)は定格時間30秒以内にしてください。30秒以上ご使用になる場合は15分以上休ませた後、再度ご使用ください。
- ・ 材料の大きさによってカッターが回りにくくなる場合があります。断続プッシュで確認しながら操作してください。
- ・ 材料が大きすぎるとカッターが回転しないことがあります。その場合は材料を小さく切って再度運転してください。
- ・ カッターに詰まった材料を取り出すときは、へらやスプーンなどで取り出してください。けがの原因となります。
- ・ 空運転を絶対しないでください。故障・破損の原因となります。

△注意

ご使用のときは、本体を真上から押してください。

故障・けがの原因となります。

7. 調理が終わったら、カッターが完全停止したことを確認し、コンセントから電源プラグを抜いてください。

コンセント接続のままにしておくと誤操作によりけがなどの原因になります。

※ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすることはしないでください。

8. 調理後は本体・チョッパーふた・カッターをはずし、調理物を取り出し、お手入れをしてください。

調理後そのままにしておくと、汚れが取れにくくなり、カッターなどに悪影響があります。

- ・ カッターをはずすときは、ゆっくり行ってください。ガラスボウルの内容物がとび出すことがあります。

△注意

- ・ 固い材料を調理するときは、カッターが破損することがあります。カッターを取り出した際に、カッターに傷、刃こぼれなどを発見された場合は破片が材料に混入している可能性がありますので、材料は使わずに廃棄してください。けがの原因となります。
- ・ カッターに直接触れないでください。けがの原因となります。

つかいかた(ブレンダー)

ブレンダーのつかいかた

1. ブレンダーホルダーをブレンダーカップに取り付けてください。

- ・ブレンダーカップとブレンダーホルダーをしっかりと締め付けてください。
- ・締め付けが足りないとブレンダーカップ内の液体や材料が漏れるのでご注意ください。

△注意

- ・ブレンダーカッターに直接触れないでください。けがの原因となります。
- ・パッキンの付け忘れ、装着時のねじれ・汚れなどご注意ください。

ブレンダーカップ



2. ブレンダーカップに材料を入れ、ブレンダーふたをしてください。

- ・材料は約2cm角に切ってから入れてください。
- ・材料を入れる順番として
 - ① 液体
 - ② やわらかい材料
 - ③ かたい材料
 - ④ 角氷 (必要な場合)を入れてください。

△注意

- ・使用できない氷
 - ・ 2.5cm角以上の氷
 - ・ ドライアイス
 - ・ 市販の氷(ロックアイス)
 - ・ 業務用製氷機で作った氷
- ・ 材料を最大量(800ml)より多く入れないでください。故障の原因となります。
- ・ 材料の入れすぎ、少なすぎにご注意ください。破損・けがの原因となります。
- ・ 40°C以上の熱い材料を入れしないでください。必ず食材を常温に冷ましてからご使用ください。故障・破損・けが・やけどの原因となります。
- ・ 水や牛乳など、必ず液体を一緒に入れてください(氷の加工は除く)。

材料を入れる
(順番に注意)



ブレンダーふた



△注意

必ず材料を入れてブレンダーふたをしてから、本体にのせてください。けがの原因となります

つかいかた(ブレンダー)

- ・ 固形物と液体物の割合は1:2
または液体を多めにしてください。
 - ・ 氷だけの粉碎は200g
(2.5cm角以下の角氷)以上
入れないでください。
 - ・ 調理できない材料は4ページ
をご確認ください。
- 破損・故障の原因となります。

△注意

3. 本体を安定した水平な場所に設置
してください。
4. 右図のようにブレンダーホルダーを
本体に正しくのせてください。

本体上部の白い△マークと、ブレンダーホルダーの白い▽マークを合わせてのせてください。

5. 本体の電源コードをコンセントに差し込んでください。

- ・ 電源コードを束ねたまま使用
しないでください。
コードが傷つき、感電・発火の原因
となります。

△注意

- ・ ブレンダーカップを押した状態
でコンセントに差し込むと
通電し、作動しますので、ご注意
ください。

6. ブレンダーふたの真上から押して
調理してください。

ブレンダーカップを押しているときのみ作動します。

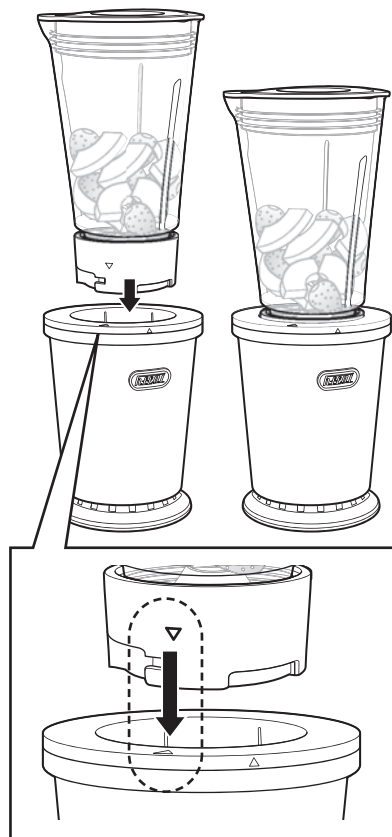
手を離すと停止します。

材料を入れすぎると、使用中に調理物が溢れ出ることがあります。量が多いときは、何回かに分けてご使用ください。

- ・ 空運転は絶対しないでください。
故障・破損の原因となります。
- ・ 一回の使用時間(連続操作、断
続操作の合計時間)は定格時
間2分以内にしてください。

△注意

- 2分以上ご使用になる場合は15分以上
上休ませた後、再度ご使用ください。
- ・ 材料の大きさによってカッター
が回りにくくなる場合があります。
断続プッシュで確認しながら
操作してください。



つかいかた(ブレンダー)

△注意

- ・材料が大きすぎるとカッターが回転しないことがあります。その場合は材料を小さく切って再度運転してください。
- ・カッターに詰まった材料を取り出すときは、へらやスプーンなどで取り出してください。けがの原因となります。
- ・絶対にブレンダーふたをしないまま使用しないでください。
- ・材料を追加するときは、必ず本体からはずしてから入れてください。
- ・カッターの回転が完全に止まるまでブレンダーカップのふたを開けたり、ブレンダーカップの中に指やスプーンなど材料以外のものを入れないでください。けがの原因となります。

7. 調理が終わったら、カッターが完全停止したことを確認し、コンセントから電源プラグを抜いてください。

コンセントにつないだままにしておくこと誤操作によりけがなどの原因になります。

※ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすることはしないでください。

8. 調理後は調理物を取り出し、お手入れをしてください。

調理後そのままにしておくこと、ブレンダーカップやブレンダーホルダーに付いた汚れが取れにくくなり、ブレンダーカッターなどに悪影響があります。

△注意

- ・固い材料を調理するときは、カッターが破損することがあります。カッターを取り出した際に、カッターに傷、刃こぼれなどを発見された場合は破片が材料に混入している可能性がありますので、材料は使わずに廃棄してください。
- ・調理物を取り出すときは、へらやスプーンなどで取り出してください。けがの原因となります。

つかいかた(ミル)

ミルのつかいかた

1. ミルキャップに材料を入れて、ミルホルダーを取り付けてください。

- ・ミルカップに刻まれているMAX目盛を超えないように材料を入れてください。量が多いときは、何回かに分けてご使用ください。



MAX目盛

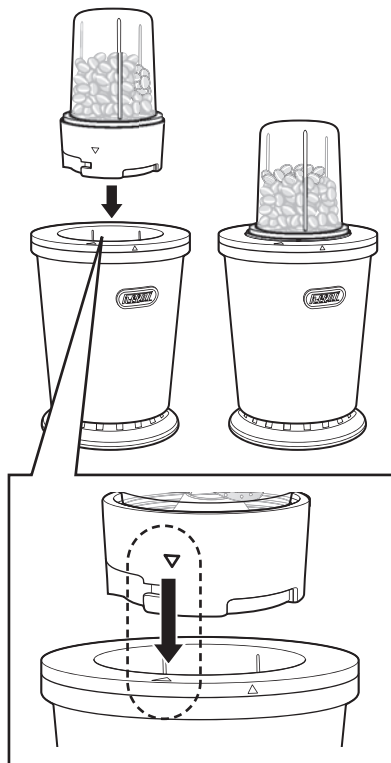
△注意

- ・ミルキャップにミルホルダーをしっかり締め付けてください。
- ・材料の入れすぎ、少なすぎにご注意ください。
破損・けがの原因となります。
- ・長い材料は約1cmに切ってから入れてください。
少ないと空回りの原因となります。
- ・40℃以上の熱い材料を入れないでください。
- ・液体は入れないでください。
- ・油分を含むナッツ類は断続ブッシュで材料を跳ね上げながら粉碎してください。
- ・調理できない材料は、4ページをご確認ください。
- ・ミルカッターに直接触れないでください。
けがの原因となります。
- ・パッキンの付け忘れ、装着時のねじれ、汚れなどご注意ください。
けがの原因となります。

2. 本体を安定した水平な場所に設置してください。

3. ミルホルダーを本体に正しくのせてください。

右図のように本体上部の白い△マークと、ミルホルダーの白い▽マークを合わせてのせてください。



つかいかた(ミル)

4. 本体の電源コードをコンセントに差し込んでください。

⚠注意

- ・電源コードを束ねたまま使用しないでください。
コードが傷つき、感電・発火の原因となります。
- ・本体を押しした状態でコンセントに差し込むと通電し、作動しますので、ご注意ください。

5. ミルキャップの真上から押して調理してください。

ミルキャップを押しているときのみ作動します。
手を離すと停止します。

⚠注意

- ・空運転は絶対しないでください。
故障・破損の原因となります。
- ・一回の使用時間(連続操作、断続操作の合計時間)は定格時間30秒以内にしてください。
30秒以上ご使用になる場合は15分以上休ませた後、再度ご使用ください。
- ・使用直後のミルカッターは熱いため、直接触れないでください。



6. 調理が終わったら、カッターが完全停止したことを確認し、コンセントから電源プラグを抜いてください。

コンセントにつないだままにしておくこと誤操作によりけがなどの原因になります。

※ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすることはしないでください。

7. 調理後は調理物を取り出し、お手入れをしてください。

調理後そのままにしておくこと、ミルに付いた汚れが取れにくくなり、ミルカッターなどに悪影響があります。

⚠注意

カッターを取り出した際に、カッターに傷、刃こぼれなどを発見された場合は破片が材料に混入している可能性がありますので、材料は使わずに廃棄してください。
けがの原因となります。

お手入れのしかた

安全にお使いいただくために、ご使用毎にお手入れしてください。

△注意

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・ショート・やけど・火災の原因になります。
- お手入れをするときは、本体の温度が下がってから行ってください。
- 本製品のお手入れに、台所用中性洗剤以外の洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは絶対に使用しないでください。
傷がついたり、変色したりする原因になります。
- 本体とチョッパーホルダーに直接水をかけないでください。
故障・やけど・火災の原因になります。
- 40℃以上の熱湯で洗ったり、食器洗浄機、食器乾燥機などは使用しないでください。
変形・破損の原因になります。

本体とチョッパーホルダーの お手入れ

1. よくしぼったふきんで、本体とチョッパーホルダーの汚れをきれいにふいてください。

長時間汚れたままにしておくと、汚れが取れなくなることがあります。

△注意 本体とチョッパーホルダーは絶対に水につけないでください。
故障・感電の原因になります。

2. お手入れ後は十分に乾燥させてください。

水分が残っていると、カビやサビの原因になります。

本体とチョッパーホルダー以外 のお手入れ

1. 本体とチョッパーホルダー以外はすべて水洗いできますので、使用したものはすべて台所用中性洗剤とやわらかいスポンジを使って洗ってください。

長時間汚れたままにしておくと、汚れが取れなくなることがあります。

- チョッパーのカッターつまみの先端の穴に入り込んだ材料などもブラシで洗い流してください。
- ブレンダーホルダーとミルホルダーはパッキンを取りはずした後、ブラシで中性洗剤をつけて洗ってください。(パッキンの取りはずしかたは19ページを参照してください。)

お手入れのしかた

- ・ チョッパーすべり止めはガラスボウルからはずして洗ってください。

△注意

- ・ 各カッターには触れないように十分注意して洗ってください。
- ・ ブレンダーカップ／ミルキャップの樹脂部品は、にんじん、葉菜類の色素が付着して変色することがあります。使用後は早めにお手入れしてください。

2. お手入れ後は十分に乾燥させてください。

水分が残っていると、カビやサビの原因になります。

3 乾燥させたあと、パッキンを取り付けてください。

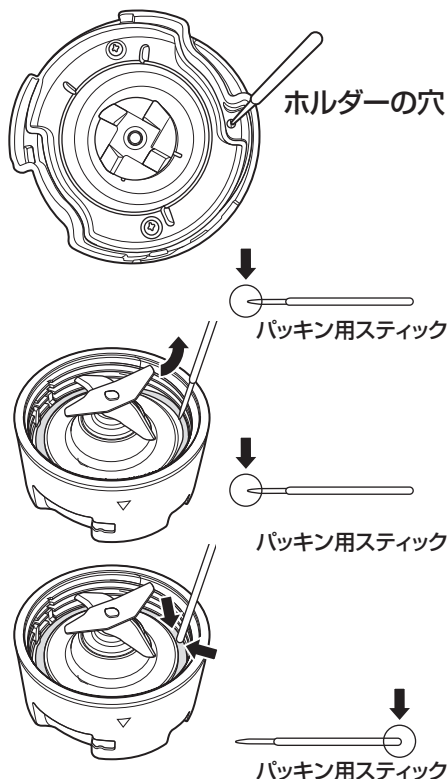
- ### △注意
- 各カッターに十分注意してパッキンを取り付けてください。

ブレンダーホルダー・ミルホルダーのパッキンのお手入れ

1. ホルダーの穴からスティックを差し込み、パッキンを押し上げてください。
2. スティックでパッキンをすくい上げるように取りはずしてください。
3. 取り付けるときは、スティックでパッキンを上から押しながらはめてください。

※しっかりと取り付けられていることを確認してください。

- ### △注意
- 各カッターには直接触れないでください。
けがの原因となります。



故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処
セットし上から押ししても動作しない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか?	電源プラグをコンセントに取り付けてください。
	本体・各容器・各部品が正しくセットされていますか?	正しく取り付けてください。
モーターの動いている音がするが調理できない・調理時間が長い・振動が大きい	材料が多すぎませんか?	材料を少なくしてください。
	材料が大きすぎませんか?	材料を小さくしてください。
	材料が固すぎませんか?	固い材料を取り除いてください(調理できない材料は4ページをご確認ください)。
	材料が片寄っていませんか?	材料を均一にならしてください。
	チョッパー、カッターつまみの先端が変形していたり、異物が詰まっていますか?	お手入れ(18,19ページ)し、変形した場合は交換してください。
	ホルダーを間違えていませんか?	刃の枚数を確認してブレンダーホルダー、ミルホルダーを正しいものに変えてください。
	チョッパーふたは正しく取り付けられていますか?	チョッパーふた、チョッパーホルダーを正しく取り付けてください。
材料があふれてくる	パッキンは正しく取り付けられていますか?	パッキンを正しく取り付けてください。
	材料が多くありませんか?	材料を少なくしてください。
カッターが空回転してしまう	材料の組み合わせなどにより、容器まわりに付いてしまったり分離することがあります	一度上下に容器を振るなどして、材料をまぜてください。
	材料が少なすぎませんか?	材料を多くしてください。
途中で止まってしまう	材料が粘り気の強い食材ではありませんか?	粘り気の強い食材を調理するときは、(調理できない材料・4ページ)を参照してください。
	長時間(定格時間以上)使用していませんか?	本体を30分以上休ませてください。

故障かな?と思ったら

こんなとき	原因	対処
材料がうまく混ざらない	材料が多すぎませんか?	材料を少なくしてください。
	材料が大きすぎませんか?	材料を小さくしてください。
	調理時間が短すぎませんか?	調理時間を長くしてください。
	ガラスボウルの壁面に材料がついていませんか?	一旦ふたをはずしてスプーンなどで中に落として操作してください。

長期間ご使用のマルチフードプロセッサ―は定期的な点検をお願いします

- 電源コードが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷などがある。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- カッターの破損、刃こぼれ、ヒビ割れなどがある。
- そのほか異常や故障がある。



このような症状が出たり発見したときには、すぐに使用を中止してください。

製品仕様

品名	Toffy マルチフードプロセッサ
品番	K-FP1
電源	AC100V 50/60Hz
電源コード長	約0.8m
生産国	中国

	チョッパー使用時	ブレンダー使用時	ミル使用時
定格消費電力	400W	280W	220W
本体寸法	約215(W)×295(H) ×180(D)mm	約φ120×315(H)mm	約φ120×230(H)mm
重量	約2,230g	約1,000g	約895g
定格容量	500ml (ガラスボウル)	800ml (ブレンダーカップ)	85ml (ミルキャップ)
定格時間	30秒	2分	30秒
回転数(無負荷時)	約 3,750 回/分	約 20,200 回/分	約 20,200 回/分

付属品	パッキン用スティック、レシピブック、ユーザーズガイド(保証書含む)
-----	-----------------------------------

※商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※この商品は日本国内専用で、外国では使用できません。アフターサービスも対応できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

受付時間 10:00～18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

